

# 財政事情



令和6年11月

東近江行政組合

# 1 令和5年度決算の概要について

## ◆ 一般会計

### 1 現況

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進み企業業績の回復がみられる一方で、不安定な国際情勢による物価高騰等が住民生活に大きな影響を与えています。政府は「経済財政運営と改革の基本方針 2023」において、持続的な成長と安心で幸せを実感できる経済社会を実現できる基盤の構築に合わせて、経済・財政の一体的改革とコロナ後の歳出構造を平時に戻していくための中長期的視点に立った経済財政運営を推進するとしています。また、当組合を構成する市町は、刻々と変化する社会情勢や住民ニーズを的確に把握した行政サービスの充実に取り組むとともに、事業の取捨選択を繰り返しながら行財政改革への努力が重ねられているところです。

このような中、当組合においては、令和5年度についても、これまでと同様に住民の生命、身体及び財産を守る責務を全うするため、消防力・救急救助の強化に取り組みました。各事業において、いずれも限られた歳入に見合う歳出を心がけ、最大の事業効果を上げるよう取り組みました。

令和5年度の主要な施策の成果は次のとおりです。

### 2 事務局関係

事務局関係では、議会、監査委員事務及び公平委員会の円滑な事務局運営に努めました。また、新規職員の採用関係では、職場見学会を実施したほか、後年度必要となる職員数を鑑みながら募集及び採用を行いました。現職員に対しては、メンタルヘルス不調等を事前に防ぐ観点からストレスチェック等を実施しました。

### 3 予防関係

予防関係では、予防課及び5署の予防係に専門的な知識を有する予防技術資格者17名を配置し、日々の予防業務に努めるとともに、火災予防を目的とする各種事業を事業所及び地域住民に対し実施しました。

防火対象物及び危険物施設に対し、位置、構造、設備及び管理状況を検査するため、管内にある防火対象物9,192棟及び危険物施設1,215施設において、年間査察計画に基づき3,027施設に立入検査を実施し、不適切な施設については改善指導等を実施するとともに、事業所において延べ60回(4,729名)の防火防災指導及び訓練指導を実施しました。また、重大な消防法令違反の対象物に対しては、違反是正に重点的に取り組み、令和4年度中に警告措置をしていた2件のうち、令和5年度末現在、1件を改修完了、残り1件については継続指導中です。

地域住民等に対し住宅防火訪問、各署の初期消火競技大会、ちびっ子消防広場等の事業を実施し、女性防火クラブ、自治会、児童、外国人、高齢者等に対し防火指導等として消火訓練及び防火防災座談会を延べ189回(7,913名)実施しました。また、「広げよう地域に防火の輪を」を合い言葉に女性防火クラブ設立40周年記念式典(クラブ員88名参加)を開催しました。

広報及び啓発活動においては、令和5年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行となりましたが、引き続き感染対策を徹底した上で秋・春の火災予防運動で啓発品を配布し、火災予防の呼びかけを行いました。また、火災予防運動の実施に合わせ、各市町協力のもと事前に各自治会に回覧用の火災予防のチラシを配布するとともに、当消防本部ホームページ、防災アプリ、SNS等の媒体を活用した防火啓発活動に努めました。

さらに、火災の早期発見・早期避難により、尊い人命を守る目的で設置が義務化された住宅用火災警報器は、義務化から10年以上が経過し、器具の不具合による相談が散見されることから、街頭広報、防火指導等のあらゆる機会を通じて設置率の向上及び日常点検等維持管理の徹底について地域住民への周知に取り組みました。

## 4 警防関係

警防関係では、複雑多様化する災害に備え、車両及び資機材更新計画を策定し、警防体制の充実・強化を図っており、令和5年度においては消防ポンプ自動車（CD-I型）1台、小型動力ポンプ（B-3級）の更新を行うとともに、高規格救急自動車1台のオーバーホールを行いました。

八日市消防署に更新配備した「消防ポンプ自動車（CD-I型）」は、3t級シャシにより狭隘な道路や住宅密集地への進入が可能なほか、悪路及び積雪時の走行を考慮し四輪駆動車を採用、さらには水700リットルを積載しており、単隊での機動性及び即応性を最大限発揮しています。

近江八幡消防署に更新配備した小型動力ポンプ（B-3級）は、離島における火災防ぎょ対策として沖島に配備したものであり、消防隊が到着するまでの間の初期消火活動に有効なものとなります。

また、近江八幡消防署に配備されている「高規格救急自動車（1号車）」のオーバーホールについては、導入から5年が経過し、引き続き機能性と安全性を確保するため、主要部分の部品交換を行いました。

救急業務においては、救急救命士養成計画に基づき、3名の新規救急救命士養成を行いました。また、就業前病院実習5名、気管挿管認定救命士3名の新規養成を行いました。令和5年度末時点での救急救命士有資格者は101名、そのうち、気管挿管認定救命士は54名、薬剤投与認定救命士は88名となりました。

さらに、救急業務全般において指導的な役割を担う指導救命士は、令和5年度末時点で9名であり、今後も東近江行政組合消防本部指導救命士運用要綱に基づき、現場で活動する救急救命士を対象とした救急技術研修会や症例検討会等において、指導救命士が中心となり救急技術のさらなる向上を図ってまいります。

地域住民、教育関係者、事業所等を対象とした各種救命講習は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、令和5年5月8日以降は救命講習の各種制限を解除し開催しました。上級救命講習を30名、普通救命講習を2,633名、一般救命講習を6,287名が受講しました。

なお、令和5年度の救急搬送傷病者のうち、救急隊接触時に心肺停止状態であった症例は255件で、救急隊到着前にその場に居合わせた方が行った心肺蘇生法の実施率は67.5%でした。また、搬送した心肺停止状態の傷病者のうち、社会復帰された方は11名おられました。突然の心肺停止や重篤な傷病者に対して、その場に居合わせた方による早期除細動や応急手当は住民の生命を守る上で極めて重要であり、今後も救命講習受講者の拡大に努めてまいります。

## 5 通信関係

通信関係では、管内の119番通報を受信し、消防車、救急車等への出動指令、無線管制等の通信指令業務を行う基幹システムである高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線設備の安定稼働のため各システムの更新、管理及び検証業務を行っています。

令和5年度は、消防救急デジタル無線設備の基地局のバックアップ電源装置の更新を行いました。このバックアップ電源装置は、停電等による電源遮断時においても機器を継続して安定稼働させるもので、消防救急デジタル無線設備の日野基地局、能登川基地局及び永源寺基地局の電源装置をそれぞれ更新しました。

令和8年度に運用開始予定の新高機能消防指令システム導入にかかる設計・監理業者を令和5年度に選定を行い、更新に向け設計業者と設計中です。

高機能消防指令システム及び消防救急デジタル無線をはじめとして、引き続き通信機器等の適正な維持管理を行い、今後も様々な緊急通報に対する対応力の向上と確実な通信インフラの確保に努めてまいります。

## 6 研修関係

研修関係では、消防分野の基礎的内容から時代のニーズに応えるための専門的で高度な内容を修得する研修を受講しました。

主な受講内容としては、東京都にある消防大学校の教育を4名（幹部科1名、予防科1名、救助科1名、高度救助・特別高度救助コース1名）が受講し、滋賀県消防学校の教育を72名（専科教育38名、幹部教育9名、特別教育13名、初任教育12名）が受講しました。その他の専門機関では救急救命士養成研修3名、小型移動式クレーン等の技能講習30名、無人航空機（ドローン）操縦講習3名が受講しました。

また、他の消防機関における研修として、湖南広域消防局での違反是正の推進に係る実務研修を1名、大阪市消防局予防実務研修を1名、大阪市消防局方面隊実務研修を1名が受講しました。その他の幅広い行政分野への研修として、滋賀県市町村職員研修センター主催の研修を11名が受講しました。

これらの研修を通じて得た知識及び技術を、災害現場を始めとする業務全般で活用するとともに、今後も様々な研修を取り入れ、職員の資質向上並びに人材育成に努めてまいります。

## 7 庁舎建設関係

庁舎関係では、消防本部庁舎（八日市署含む）及び永源寺出張所の建築物定期点検を実施したほか、消防本部庁舎（八日市署含む）は外壁検査も合わせて実施しました。また、消防本部庁舎の防火シャッターを老朽化に伴い更新しました。

令和8年度に運用開始予定の新高機能消防指令システム導入にかかる消防本部3階の改修設計・監理業者を令和5年度に選定を行い、改修に向け建築設計業者と設計中です。

今後もさらに地域の防災拠点として災害対応に万全を期すべく、計画的な施設の機能維持に努めてまいります。

## 8 収支状況

一般会計の収支は、歳入総額が3,323,733千円、歳出総額が3,253,676千円、歳入歳出差引額は70,058千円となりました。

歳入については、組合構成市町からの分担金が3,074,000千円で全体の92.5%を占めています。また、繰入金は112,607千円で全体の3.4%を占め、職員退職基金繰入金が87,607千円、また、平成26年度に整備した消防救急デジタル無線の財源として起債した組合債の元金償還負担軽減を目的とする、消防庁舎等整備基金繰入金が25,000千円となりました。

その他の主な歳入としては、使用料及び手数料は危険物施設設置許可等申請手数料が6,408千円、国庫支出金は緊急消防援助隊活動費負担金が5,335千円、県支出金は県消防学校への派遣職員に係る県負担金等が7,057千円、財産収入は各基金に係る利子分として1,254千円となりました。諸収入は名神高速道路救急業務支弁金、県防災航空隊員派遣助成金等が21,412千円となりました。組合債は35,000千円で、消防ポンプ自動車（CD-I型）1台の事業において起債しました。

歳出については、科目別では、議会費が605千円（全体の0.1%未満）、総務費が88,566千円（全体の2.7%）、消防費が2,742,846千円（全体の84.3%）、公債費が271,987千円（全体の8.4%）、諸支出金が149,671千円（全体の4.6%）となりました。

性質別では、人件費・扶助費・公債費を合わせた義務的経費が2,686,826千円（全体の82.6%）となり、物件費・維持補修費・補助費等を合わせた一般行政経費が357,939千円（全体の11.0%）となりました。

投資的経費である普通建設事業費は59,240千円（全体の1.8%）となりました。主な内訳としては、消防ポンプ自動車（CD-I型）1台が41,250千円、直流電源装置蓄電池更新（消防救急デジタル無線）が6,930千円、人事給与システム更新が4,532千円、消防本部防火シャッターが1,969千円、小型動力ポンプ1基が1,745千円となりました。

積立金は149,671千円で、その内訳は、財政調整基金が731千円、職員退職基金が145,723千円、消防施設整備基金が3,049千円、消防庁舎等整備基金が168千円となりました。

◆令和5年度 決算収支

(単位:円)

区 分	一般会計		救急医療特別会計	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
歳入総額 A	3,323,733,332	3,393,818,483	185,036,055	177,911,607
歳出総額 B	3,253,675,771	3,333,157,769	160,154,318	148,539,255
歳入歳出差引額 C (A-B)	70,057,561	60,660,714	24,881,737	29,372,352
翌年度に繰り越す べき財源 D	7,496,000	0	0	0
実質収支 E (C-D)	62,561,561	60,660,714	24,881,737	29,372,352
前年度実質収支 F	60,660,714	30,032,462	29,372,352	17,485,602
単年度収支 G (E-F)	1,900,847	30,628,252	△ 4,490,615	11,886,750
財政調整基金積立金 H	731,326	187,637	6,256,839	34,288
繰上償還金 I	0	0	0	0
財政調整基金積立金 取り崩し額 J	0	8,500,000	0	16,464,000
実質単年度収支 K (G+H+I-J)	2,632,173	22,315,889	1,766,224	△ 4,542,962

◆令和5年度 構成市町分担金(決算額)

(単位:円)

構成市町	一般会計			救急医療 特別会計	合 計
	議会・総務	消 防	計		
近江八幡市	28,791,000	785,976,000	814,767,000	26,062,000	840,829,000
東近江市	38,929,000	1,356,757,000	1,395,686,000	31,556,000	1,427,242,000
日野町	8,662,000	266,262,000	274,924,000	5,695,000	280,619,000
竜王町	5,549,000	197,067,000	202,616,000	4,687,000	207,303,000
愛荘町	4,069,000	381,938,000	386,007,000	—	386,007,000
合 計	86,000,000	2,988,000,000	3,074,000,000	68,000,000	3,142,000,000

◆令和5年度 一般会計決算

(歳入)

(単位:円)

区分	年度	令和5年度		令和4年度		差引増減	
		決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
分担金及び負担金		3,074,000,000	92.5	3,012,000,000	88.7	62,000,000	2.1
使用料及び手数料		6,407,650	0.2	6,712,050	0.2	△ 304,400	△ 4.5
国庫支出金		5,335,135	0.2	10,349,000	0.3	△ 5,013,865	△ 48.4
県支出金		7,057,090	0.2	6,670,182	0.2	386,908	5.8
財産収入		1,253,865	0.0	411,524	0.0	842,341	204.7
繰入金		112,606,921	3.4	280,387,935	8.3	△ 167,781,014	△ 59.8
繰越金		60,660,714	1.8	30,032,462	0.9	30,628,252	102.0
諸収入		21,411,957	0.6	27,055,330	0.8	△ 5,643,373	△ 20.9
組合債		35,000,000	1.1	20,200,000	0.6	14,800,000	73.3
合計		3,323,733,332	100.0	3,393,818,483	100.0	△ 70,085,151	△ 2.1

(歳出)

(単位:円)

区分	年度	令和5年度		令和4年度		差引増減	
		決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
目的別	議会費	604,702	0.0	643,889	0.0	△ 39,187	△ 6.1
	総務費	88,566,239	2.7	83,079,388	2.5	5,486,851	6.6
	消防費	2,742,845,898	84.3	2,832,702,167	85.0	△ 89,856,269	△ 3.2
	公債費	271,987,457	8.4	267,648,781	8.0	4,338,676	1.6
	諸支出金	149,671,475	4.6	149,083,544	4.5	587,931	0.4
	合計	3,253,675,771	100.0	3,333,157,769	100.0	△ 79,481,998	△ 2.4
性質別	人件費	2,376,778,415	73.0	2,541,499,680	76.2	△ 164,721,265	△ 6.5
	うち職員(給料・手当) ※退職手当除く	1,902,730,428	58.5	1,900,438,961	57.0	2,291,467	0.1
	うち退職手当	87,722,723	2.7	247,385,865	7.4	△ 159,663,142	△ 64.5
	扶助費	38,060,000	1.2	37,875,000	1.1	185,000	0.5
	物件費	304,645,732	9.4	226,701,207	6.8	77,944,525	34.4
	維持補修費	4,286,181	0.1	4,683,932	0.1	△ 397,751	△ 8.5
	補助費等	49,006,544	1.5	45,712,728	1.4	3,293,816	7.2
	普通建設事業費	59,239,967	1.8	59,952,897	1.8	△ 712,930	△ 1.2
	公債費	271,987,457	8.4	267,648,781	8.0	4,338,676	1.6
	積立金	149,671,475	4.6	149,083,544	4.5	587,931	0.4
	合計	3,253,675,771	100.0	3,333,157,769	100.0	△ 79,481,998	△ 2.4

(単位:円)

歳入歳出差引額	70,057,561		60,660,714		9,396,847	15.5
---------	------------	--	------------	--	-----------	------

※構成比は、それぞれ四捨五入していますので、端数において合計とは一致しない場合があります。

## ◆ 救急医療特別会計

### 1 現況

東近江地域における救急医療体制は、比較的症状の軽い患者を受け持つ「一次救急医療施設」と、入院治療等を必要とする重症救急患者の診療を受け持つ「二次救急医療施設」が整備されており、さらに重篤救急患者に対する三次救急医療体制として「救命救急センター（近江八幡市立総合医療センターに併設）」が整備されています。

こうした中、近江八幡・東近江休日急患診療所を運営するとともに、二次救急医療施設6病院及び小児二次救急医療施設3病院による365日輪番体制や祝日等の指定日における歯科在宅当番医制に対する補助を引き続き実施し、「安心して暮らせる東近江」の医療体制づくりに取り組みました。

また、組合ホームページや構成市町の広報紙面を活用し、休日や夜間、年末年始における救急医療情報の周知を図りました。

令和5年度の主要な施策の成果は次のとおりです。

### 2 受診状況

日・祝日の診療状況は、年間73日（前年度72日）で延べ受診者数は7,566人（前年度5,971人）で、1日の平均受診者数は103.6人（前年度83人）となり、診療所別にみると、近江八幡休日急患診療所は4,417人（前年度3,568人）で1日平均受診者数は60.5人（前年度49.6人）、東近江休日急患診療所が3,149人（前年度2,403人）で1日平均受診者は43.1人（前年度33.4人）となりました。

また、土曜日の診療状況は、年間50日（前年度50日）で受診者数は1,096人（前年度990人）で1日の平均受診者数は21.9人（前年度19.8人）となりました。

年間の患者総数は、前年度比で24.4%増加しました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5月8日から季節性インフルエンザ等と同じ「5類」に移行したものの、発熱や喉の痛みといった風邪症状により診療所へ診察に訪れる患者が年間を通し多い傾向であったことから、感染防止に最大限配慮する体制を維持するために風邪症状を伴う患者とその他の患者を分離する形での診療体制を継続し、診療を進めました。

### 3 収支状況

救急医療特別会計の収支は、歳入総額が185,036千円、歳出総額が160,154千円、歳入歳出差引額は24,882千円となりました。

歳入については、組合構成市町からの分担金が68,000千円で全体の36.7%を占めています。また、事業収入は前年度比5,960千円増の73,865千円となり、歳入総額に占める割合は前年度の38.2%から39.9%となりました。

そのほかの主な歳入としては、県支出金において小児救急医療支援事業補助金が12,974千円、外来対応医療機関設備整備事業費補助金が241千円となっています。

歳出については、目的別では総務費30,507千円、救急医療費123,390千円、諸支出金が6,257千円となり、性質別では、人件費が38,614千円で全体の24.1%を占め、物件費・補助費等・積立金を合わせた経費が121,540千円と全体の75.9%を占めました。

◆令和5年度 救急医療特別会計決算

(歳入)

(単位:円)

区分	年度	令和5年度		令和4年度		差引増減	
		決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
分担金及び負担金		68,000,000	36.7	60,000,000	33.7	8,000,000	13.3
事業収入		73,864,642	39.9	67,904,757	38.2	5,959,885	8.8
使用料及び手数料		387,000	0.2	404,000	0.2	△ 17,000	△ 4.2
国支出金		0	0.0	0	0.0	0	—
県支出金		13,215,000	7.1	14,528,000	8.2	△ 1,313,000	△ 9.0
財産収入		96,839	0.1	34,288	0.0	62,551	182.4
繰入金		0	0.0	16,464,000	9.3	△ 16,464,000	皆減
繰越金		29,372,352	15.9	17,485,602	9.8	11,886,750	68.0
諸収入		100,222	0.1	1,090,960	0.6	△ 990,738	△ 90.8
合計		185,036,055	100.0	177,911,607	100.0	7,124,448	4.0

(歳出)

(単位:円)

区分	年度	令和5年度		令和4年度		差引増減	
		決算額 (A)	構成比 (%)	決算額 (B)	構成比 (%)	増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
目的別	総務費	30,507,316	19.0	30,318,596	20.4	188,720	0.6
	救急医療費	123,390,163	77.0	118,186,371	79.6	5,203,792	4.4
	諸支出金	6,256,839	3.9	34,288	0.0	6,222,551	18,147.9
	合計	160,154,318	100.0	148,539,255	100.0	11,615,063	7.8
性質別	人件費	38,614,000	24.1	38,292,078	25.8	321,922	0.8
	扶助費	0	0.0	0	0.0	0	—
	物件費	29,592,372	18.5	25,328,706	17.1	4,263,666	16.8
	維持補修費	0	0.0	0	0.0	0	—
	補助費等	85,691,107	53.5	84,884,183	57.1	806,924	1.0
	普通建設事業費	0	0.0	0	0.0	0	—
	積立金	6,256,839	3.9	34,288	0.0	6,222,551	18,147.9
	合計	160,154,318	100.0	148,539,255	100.0	11,615,063	7.8

(単位:円)

歳入歳出差引額	24,881,737		29,372,352		△ 4,490,615	△ 15.3
---------	------------	--	------------	--	-------------	--------

※構成比は、それぞれ四捨五入していますので、端数において合計とは一致しない場合があります。



## 2 令和6年度上半期の予算執行状況

令和6年度上半期（4月1日から9月30日まで）における歳入及び歳出予算の執行状況は、次のとおりです。

### ◆一般会計 上半期執行状況（令和6年9月30日現在）

（歳入）

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	構成比 (%)	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A) (%)
分担金及び負担金	3,136,000,000	87.0	1,661,917,000	53.0
うち構成市町分担金	3,136,000,000	87.0	1,661,917,000	53.0
使用料及び手数料	7,000,000	0.2	3,362,350	48.0
国庫支出金	14,467,000	0.4	0	—
県支出金	7,754,000	0.2	0	—
財産収入	843,000	0.0	0	—
繰入金	234,183,000	6.5	0	—
繰越金	22,030,000	0.6	62,561,561	284.0
諸収入	21,724,000	0.6	5,228,454	24.1
組合債	159,500,000	4.4	0	—
合 計	3,603,501,000	100.0	1,733,069,365	48.1

（歳出）

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	構成比 (%)	支出済額 (B)	執行率 (B)/(A) (%)
議会費	635,000	0.0	322,700	50.8
総務費	94,456,000	2.6	33,318,757	35.3
消防費	3,111,903,000	86.4	1,231,508,390	39.6
公債費	241,267,000	6.7	129,094,222	53.5
諸支出金	150,920,000	4.2	0	—
予備費	4,320,000	0.1	0	—
合 計	3,603,501,000	100.0	1,394,244,069	38.7

※構成比は、それぞれ四捨五入していますので、端数において合計とは一致しない場合があります。

◆救急医療特別会計 上半期執行状況（令和6年9月30日現在）

（歳入）

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	構成比 (%)	収入済額 (B)	収入率 (B)/(A) (%)
分担金及び負担金	77,000,000	47.9	41,689,000	54.1
うち構成市町分担金	77,000,000	47.9	41,689,000	54.1
事業収入	55,001,000	34.2	16,260,543	29.6
使用料及び手数料	408,000	0.3	341,000	83.6
国庫支出金	0	0.0	0	—
県支出金	12,920,000	8.0	0	—
財産収入	121,000	0.1	0	—
繰入金	8,000,000	5.0	0	—
繰越金	7,298,000	4.5	24,881,737	340.9
諸収入	74,000	0.0	45,616	61.6
合 計	160,822,000	100.0	83,217,896	51.7

（歳出）

（単位：円）

区 分	予算現額 (A)	構成比 (%)	支出済額 (B)	執行率 (B)/(A) (%)
総務費	32,463,000	20.2	16,022,609	49.4
救急医療費	127,701,000	79.4	34,859,643	27.3
公債費	37,000	0.0	0	—
諸支出金	121,000	0.1	0	—
予備費	500,000	0.3	0	—
合 計	160,822,000	100.0	50,882,252	31.6

※構成比は、それぞれ四捨五入していますので、端数において合計とは一致しない場合があります。

### 3 公有財産の状況（令和6年9月30日現在）

（土地及び建物）

（単位：㎡）

区分	土地	建物
一般会計	—	14,212.91
救急医療特別会計	—	1,237.26
合計	—	15,450.17

（借受土地及び借受建物）

（単位：㎡）

区分	土地	建物
一般会計	45,144.26	1,423.03
救急医療特別会計	3,796.35	—
合計	48,940.61	1,423.03

### 4 基金の状況（令和6年9月30日現在）

（単位：円）

区分	財政調整基金	職員退職手当基金	消防施設整備基金	消防庁舎等整備基金	合計
一般会計	239,988,355	157,980,542	19,304,966	30,708,054	447,981,917
救急医療特別会計	38,254,089	—	—	—	38,254,089
合計	278,242,444	157,980,542	19,304,966	30,708,054	486,236,006

### 5 組合債の状況（令和6年9月30日現在）

（単位：円）

借入先(順不同)	借入現在高
財務省（財政融資資金）	6,365,846
かんぽ生命保険	0
近畿労働金庫	113,920,313
滋賀中央信用金庫	43,462,355
湖東信用金庫	478,306,534
滋賀県信用組合	165,962,885
滋賀蒲生町農業協同組合	134,037,701
合計	942,055,634

### 6 一時借入金の状況（令和6年9月30日現在）

一時借入なし

### 7 構成市町分担金の状況（令和6年9月30日現在）

（単位：円）

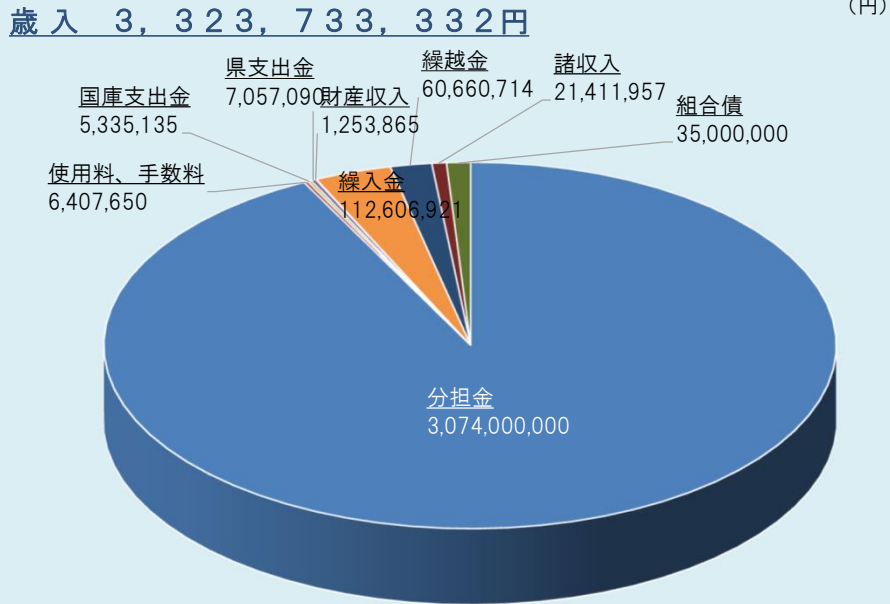
構成市町	収入済額				合計
		一般会計		救急医療特別会計	
		議会・総務	消防		
近江八幡市	417,330,000	14,421,000	402,909,000	14,683,000	432,013,000
東近江市	712,803,000	19,462,000	693,341,000	18,020,000	730,823,000
日野町	140,564,000	4,321,000	136,243,000	6,378,000	146,942,000
竜王町	103,600,000	2,762,000	100,838,000	2,608,000	106,208,000
愛荘町	287,620,000	4,067,000	283,553,000	—	287,620,000
合計	1,661,917,000	45,033,000	1,616,884,000	41,689,000	1,703,606,000

※愛荘町（一般会計）においては、4半期払いのうち3期分(10月15日納期限分)を9月中に納入済

※日野町（救急医療特別会計）においては、半期払いのうち後期分(10月15日納期限分)を9月中に納入済

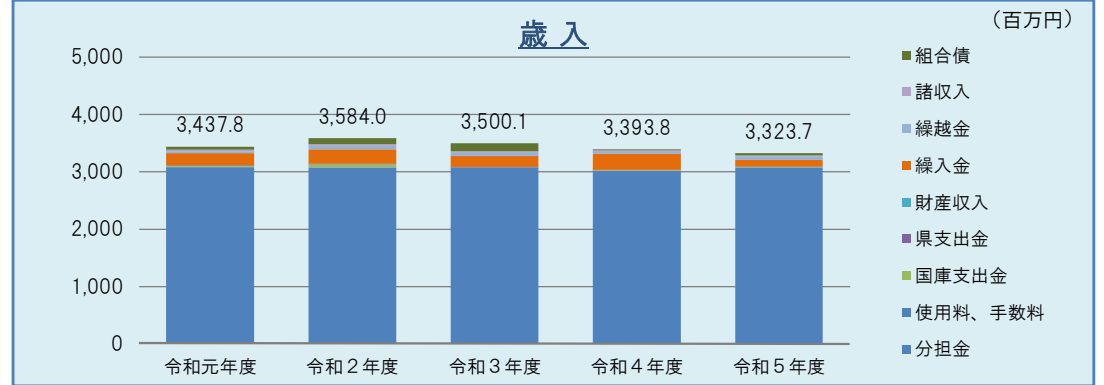
【一般会計】

令和5年度決算

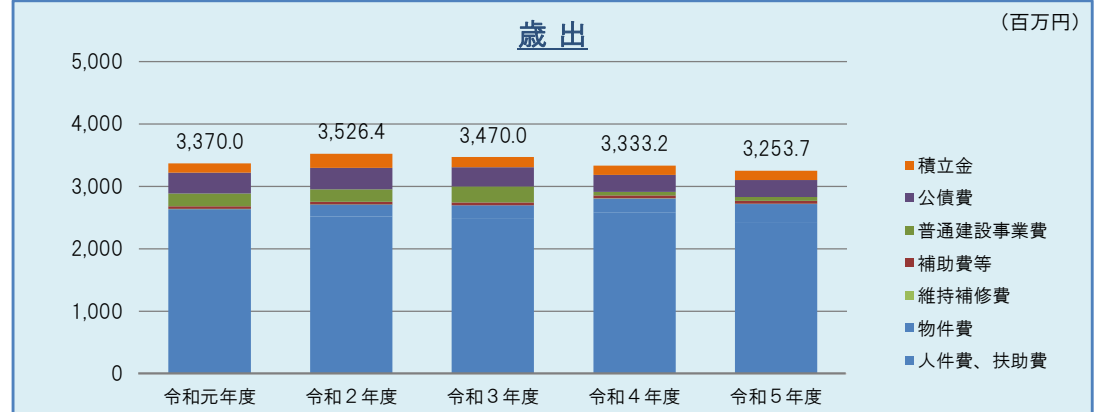
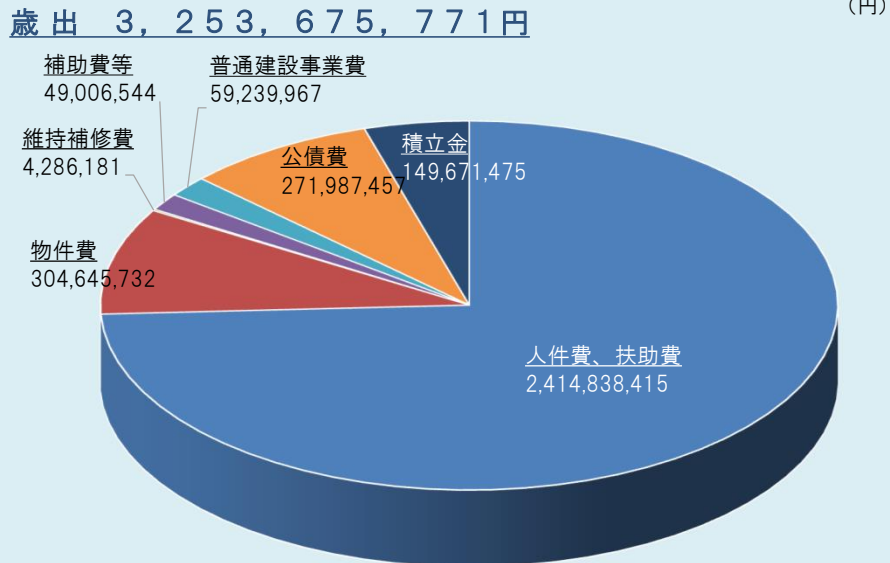


【一般会計】

過去5年間の決算状況

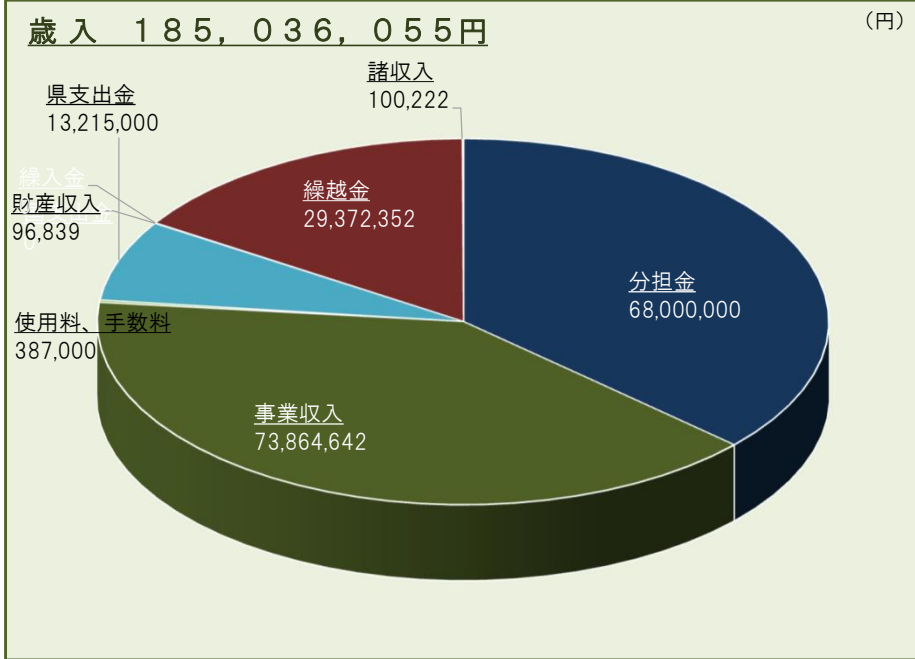


	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
分担金	3,077,000,000	3,073,000,000	3,070,000,000	3,012,000,000	3,074,000,000
使用料、手数料	9,197,800	7,887,000	6,510,200	6,712,050	6,407,650
国庫支出金	16,832,000	53,040,000	0	10,349,000	5,335,135
県支出金	8,067,084	8,075,846	9,268,612	6,670,182	7,057,090
財産収入	1,077,365	732,855	501,388	411,524	1,253,865
繰入金	211,150,293	246,874,000	188,955,139	280,387,935	112,606,921
繰越金	36,169,389	67,809,896	57,577,980	30,032,462	60,660,714
諸収入	25,905,917	25,698,837	26,964,286	27,055,330	21,411,957
組合債	52,400,000	100,900,000	140,300,000	20,200,000	35,000,000
計	3,437,799,848	3,584,018,434	3,500,077,605	3,393,818,483	3,323,733,332

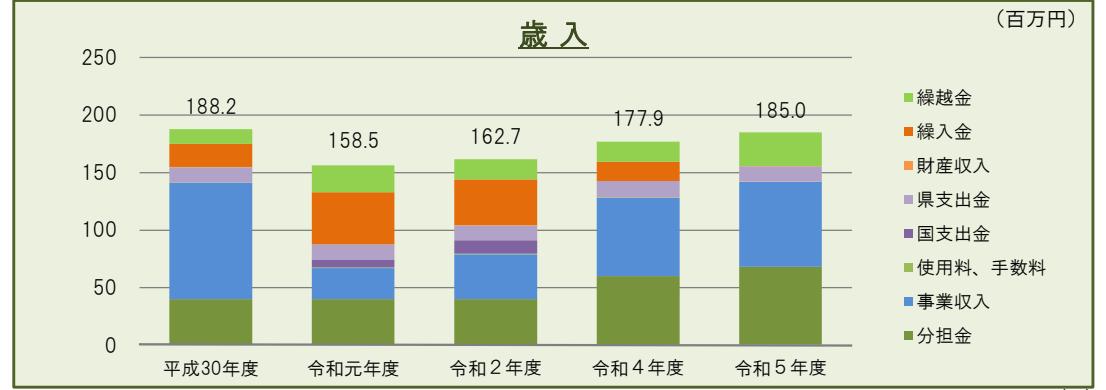


	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費、扶助費	2,443,321,546	2,516,503,825	2,492,471,301	2,579,374,680	2,414,838,415
物件費	192,497,714	196,024,165	202,116,123	226,701,207	304,645,732
維持補修費	4,863,363	1,779,690	3,817,901	4,683,932	4,286,181
補助費等	45,066,550	37,986,128	43,050,884	45,712,728	49,006,544
普通建設事業費	202,614,196	200,483,462	258,111,775	59,952,897	59,239,967
公債費	332,918,368	344,862,329	307,801,961	267,648,781	271,987,457
積立金	148,708,215	228,800,855	162,675,198	149,083,544	149,671,475
計	3,369,989,952	3,526,440,454	3,470,045,143	3,333,157,769	3,253,675,771

【救急医療特別会計】 令和5年度決算

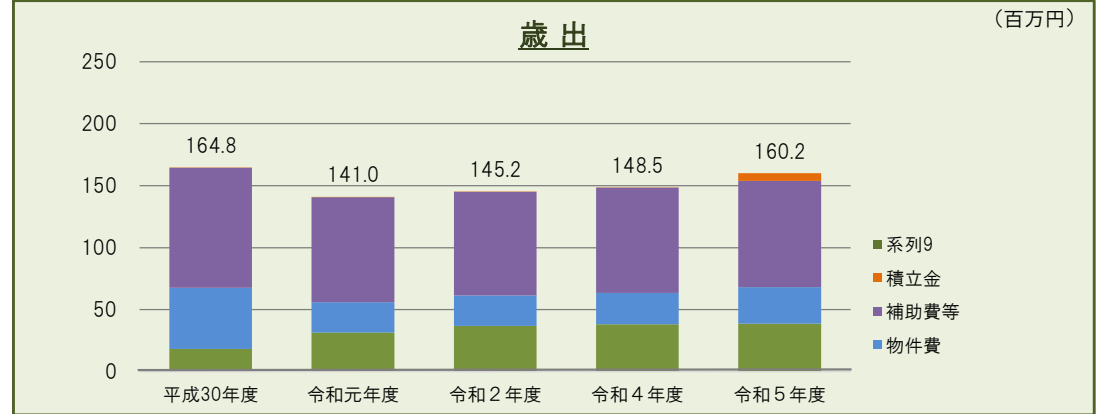
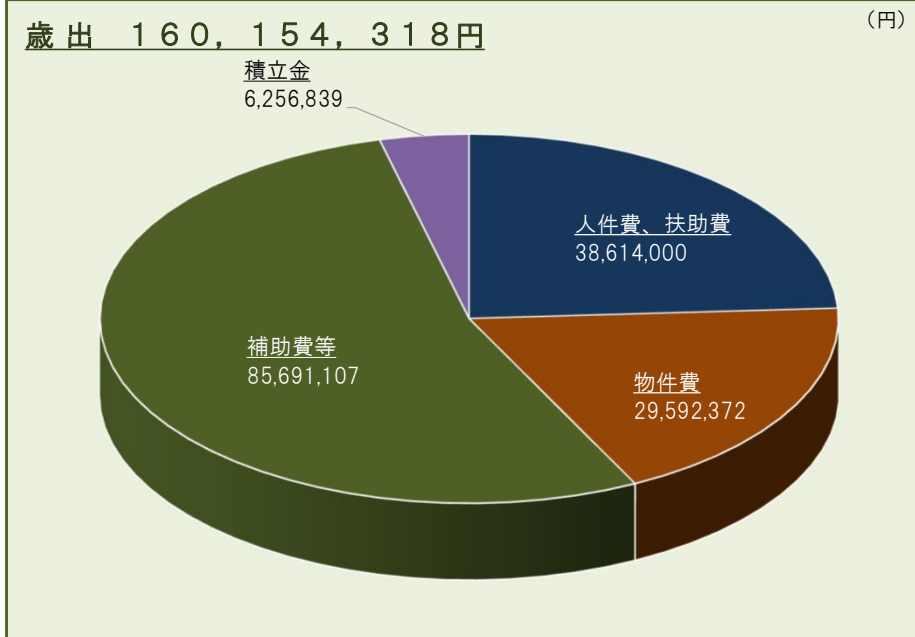


【救急医療特別会計】 過去5年間の決算状況



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和5年度
分担金	40,000,000	40,000,000	40,000,000	60,000,000	68,000,000
事業収入	101,158,019	27,152,511	38,974,514	67,904,757	73,864,642
使用料、手数料	463,000	352,000	577,500	404,000	387,000
国支出金	0	7,002,000	11,592,000	0	0
県支出金	13,056,000	12,920,000	12,938,000	14,528,000	13,215,000
財産収入	254,499	166,959	92,750	34,288	96,839
繰入金	20,000,000	45,400,000	40,000,000	16,464,000	0
繰越金	12,760,898	23,448,930	17,557,460	17,485,602	29,372,352
諸収入	554,649	2,084,832	927,698	1,090,960	100,222
計	188,247,065	158,527,232	162,659,922	177,911,607	185,036,055

12



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和4年度	令和5年度
人件費、扶助費	18,517,638	31,690,095	36,841,283	38,292,078	38,614,000
物件費	49,117,682	24,296,983	24,628,488	25,328,706	29,592,372
維持修費	0	0	0	0	0
補助費等	96,908,316	84,815,735	83,611,799	84,884,183	85,691,107
公債費	0	0	0	0	0
普通建設事業費	0	0	0	0	0
積立金	254,499	166,959	92,750	34,288	6,256,839
計	164,798,135	140,969,772	145,174,320	148,539,255	160,154,318